平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	地域イノベーション論 ( )			授業コード	E046901
担当教員名	山城　興介			科目ナンバリングコード	E31409
配当学年	3	開講期	前期		
必修・選択区分	コース必修 　地域マネジメントコース 選択 　Bソリューションコース 　会計ファイナンスコース 　スポーツビジネスコース 　福祉マネジメントコース 　こども・福祉コース	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	地域マネジメントコースの学生は必修科目になっています。				
受講心得	遅刻、無断外出、私語、スマートフォンの使用など、講義の妨げとなる行為や他の学生に迷惑のかかる行為は禁止です。				
教科書	適宜プリントを配布します。				
参考文献及び指定図書	適宜指定します。				
関連科目	社会調査法、まちづくりマーケティング、まちづくりマーケティング演習、観光ビジネス論、観光学入門、地域経営論、地域ブランド論、データ解析A、経済統計A、経済統計B				

授業の目的	事実やデータといった根拠にもとづいて、地域(まち)政策を考察できるようになることを目的として、地域を分析していくための一連の流れを解説していきます。
授業の概要	近年、消費者の行動に着目したまちの活性化に重点を置き計画されるまちづくりが注目されています。本講義では、消費者の視点からみたまちづくりの社会的意義について、論じます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： イントロダクション 地域イノベーション論の位置づけやまちづくりの課題などについて、説明します。	復習:まちづくりの課題について説明できる
第 2 週 ： ロジカルシンキング(1)ロジカルシンキングとは？ 地域の課題を考えていくための方法として、ロジカルシンキングとは何かを説明します。	復習:ロジカルシンキングについて説明できる
第 3 週 ： ロジカルシンキング(2)因果関係と相関関係 因果関係と相関関係について説明します。	復習:因果関係と相関関係について説明できる
第 4 週 ： ロジカルシンキング(3)ピラミッド構造を用いた構造化その1 ピラミッド構造を用いた構造化について説明します。	復習:ピラミッド構造を用いた構造化について説明できる
第 5 週 ： ロジカルシンキング(4)ピラミッド構造を用いた構造化その2 ピラミッド構造を用いた構造化についてさらに深く説明します。	復習:ピラミッド構造を用いた構造化について説明できる
第 6 週 ： ロジカルシンキング(5)MECEその1 ロジカルシンキングの基礎技術であるMECE(Mutually Exclusive and Collectively Exhaustive)について説明します。	復習:MECEが説明できる

第 7 週 ： ロジカルシンキング（6）MECEその2 ロジカルシンキングの基礎技術であるMECE（Mutually Exclusive and Collectively Exhaustive）について引き続き説明します。	復習：MECEが使えるようになる
第 8 週 ： 消費者回遊行動と消費者行動アプローチ（1） 地域にあった戦略を考えるための方法、ならびに、消費者回遊行動と消費者行動アプローチのイントロダクションを説明します。	復習：消費者行動アプローチについて説明できる
第 9 週 ： 消費者回遊行動と消費者行動アプローチ（2） 都心での具体的な政策（福岡都心100円バスの経済効果）を通して、消費者行動アプローチの考え方を説明します。	復習：都心100円バスの経済効果の考え方が説明できる
第10週： 消費者回遊行動と消費者行動アプローチ（3） 都心での具体的な政策（都心の買物客の時間価値の計測）を通して、消費者行動アプローチの考え方を説明します。	復習：都心の買物客の時間価値の計測の考え方が説明できる
第11週： 消費者回遊行動と消費者行動アプローチ（4） 都心での具体的な政策（福岡市地下鉄七隈線開業による経済効果）を通して、消費者行動アプローチの考え方を説明します。	復習：地下鉄七隈線の経済効果の考え方が説明できる
第12週： 消費者回遊行動と消費者行動アプローチ（5） 都心での具体的な政策（JRおおいたシティ開業による大分都心部への効果）を通して、消費者行動アプローチの考え方を説明します。	復習：JRおおいたシティ開業による大分都心部への効果の考え方が説明できる
第13週： ビッグデータ・情報による地域イノベーションの可能性（1） ビッグデータ・情報による地域イノベーションの可能性やスマートフォンを使った新しい調査方法について、説明します。	復習：ビッグデータやスマートフォンを使った新しい調査方法について説明できる
第14週： ビッグデータ・情報による地域イノベーションの可能性（2） ビッグデータを用いた地域分析の例やRESAS（地域経済分析システム）について、説明します。	復習：ビッグデータを用いた地域分析の考え方が説明できる
第15週： まとめ 講義で学んできたことを復習します。	
第16週： 期末試験	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「講義形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	ロジカルシンキングや消費者行動アプローチ、ビッグデータ解析を通して、地域の問題に関心を持つことができる
【知識・理解】	ロジカルシンキングや消費者行動アプローチの理論、ビッグデータ解析について理解ができる
【技能・表現・コミュニケーション】	地域の問題を論理的に説明することができる
【思考・判断・創造】	地域の課題を自分の頭で考えて考察できるようになる

○成績評価基準（合計100点）	合計欄	100点

到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		5点	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	50点	5点	
【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	20点	5点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	10点	5点	

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	
発表・その他（無形成果）	